

トータル保険だより

2015年 2月号



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

《発行元》

有限会社トータル保険

平成27年 2月 1日 第226号

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田69-28

TEL:0235-25-1315 FAX:0235-25-1064

URL: <http://total-hoken.net/>

ありがとうございます いただいた

職場のみんなのお昼ごはんを買いに、自転車でコンビニに行くとき、一台のワゴン車がすごい勢いで歩道に乗り上げて駐車してきました。「歩行者もいるのに危ないな」と思いつつ、コンベニで弁当を買い、外に出ると、その車が路肩に乗り上げてしまっていて、タイヤが空転していました。その時の気持ちを正直に言うと、「困っているだろうけど、危ない運転しているからそういうことになるんだ、自業自得だよ」としか思いませんでした。その車には一人しか乗っておらず、運転手の方は周りに助けを求めないようにキョロキョロしていました。コンビニの周りには何人かの人がいきましたが、誰一人として助けようとしませんでした。私には、「手伝いたいで、スーツが汚れるしな」「もともと自分がまいた種だし、向こうが頼むのが礼儀だろう」「先輩を待たせているから早く帰らないといけないし」と自分が手伝いたくないことを自分の中で正当化して、その場から逃げようと思いました。しかし、見て見ぬふりをして、人が困っている場から逃げようとしていることが申し訳なく思えてきて、気が付くと、「車を押しましようか」と

声を掛けていました。スーツが汚れても仕方がないと覚悟を決めて、肩を押しつけて全力で押しましたが、全く動きませんでした。心の中で、「やっぱり手伝うんじやなかった、困ったな」と思っていると、ずっと見ていた青年が、「手伝いましょうか」と声を掛けてくれました。礼儀から「ありがとうございます」と二人で押しました。すると、それまで全く動かなかったその車が簡単に動いてくれました。ほっとして、その青年にお礼を言おうとしたら、なぜか、「ありがとうございます」と、その青年が丁寧に頭を下げていたのです。どうして自分がお礼を言われているのかわからず、私は「ありがとうございます」と言えませんでした。手伝わってもらったのだから、自分がお礼を言わなければいけないのに。

その青年は笑顔のまま自転車で乗って去っていきました。全く不思議な「ありがとうございます」の言葉でしたが、何とも言えずうれしい気持ちになりました。今度は車の持ち主が車を止め、こちらへ走って来ました。私は大きな声で「ありがとうございます」と言っていました。相手はひどく驚いた顔になりましたが、すぐに笑顔になっていくのが見えました。お礼を言う相手をそれぞれ間違えたようなものなのに「ありがとうございます」の言葉が胸の中に幸せな気持ちを広げてくれました。



気付きを教えてください

山田在住 安在昭雄さま

ほかの保険の人は、質問しないと教えてくれませんが、私達家族が気づいていないけれども必要と思われる所を適切にアドバイスしてくれるところが一番の違いですね。

何年前前にあった自動車事故のときも迅速な対応をしていただき、本当に心強く思いました。

今も家計の見直しアドバイスをいただいている最中で、お金の有効な貯め方を教えていただいているところです。



冬の寒い時期、入浴など急激な温度変化で起こる「ヒートショック」。熱中症と同様に高齢者の命を危険にさらすもので、日本では年間一万人以上がヒートショックで死亡しているとみられます。

【浴室内でのヒートショック対策】

◆シャワーを使用して浴槽にお湯を溜める

シャワー給湯することによって、浴室温度が15分間で10℃上昇すると言われています。(東京ガスの実験にて)

シャワーの蒸気が浴室の温度を効率よく上昇してくれます。

◆寒い時期は、脱衣所と浴室を十分暖かくしておく

浴槽にお湯が溜まっている場合には、風呂に入る前にしばらく浴槽のフタを

開けておくことで浴室の温度を上昇させることができます。また浴室の床にもマットやスノコを敷いておくことも有効です。

◆風呂の温度は、38度〜40度位の低めに設定

入浴温度42〜43度の熱い湯は、心臓にかなり負担がかかるので、とても危険です。38度〜40度くらいの低めのお風呂に入るようにしましょう。

◆高齢者や高血圧の人は一番風呂を避ける

一番風呂はまだ浴室が温まっていないので、ヒートショック

になりやすくなります。

家族が入ったすぐ後に、続けて入ることが理想的です。



◆営業時間

朝9時から夜7時まで

◆お手伝いできること

- ・家計の見直し(生命保険・火災・自動車保険全般)
- ・住宅ローンアドバイス、ライフプラン作成、遺言アドバイス、相続アドバイス(生命保険の活用含む)

◆主な資格

- ファイナンシャルプランナー (AFP)
- 認定保険代理士
- 相続診断士
- 住宅ローンアドバイザー



サラリーマン川柳

日本全国三〇、四九〇句の中から選ばれた優秀100句。第26回サラ川を彩る傑作の数々をご紹介します。今回は5作をご紹介します。

- ① 半世紀 綴ってみれば 反省記
- ② 父からの 友達申請 ひく娘
- ③ 受験生 神もお手上げ 絵馬の誤字
- ④ 父の日は 昔ネクタイ 今エプロン
- ⑤ ジャンケンで 負けても妻が センターだ



えふぴーカフェ:暮らしとお金のミニ情報



◆住宅ローンアドバイス「返済負担率」とは?

年収に占める借入返済額の割合のことをいいます。

計算式=(住宅ローンの年間返済額+その他の借入金の年間返済額)÷年収



- (例) 年収400万円未満・・・30%以下
- 年収400万円以上・・・35%以下

では、その他の借入金とは?

車のローン、太陽光の設置ローン、カードによるキャッシング、銀行からの多目的ローンなどがあります。個人事業主の場合は、事業資金の借入やリース契約です。

返済負担率計算例

年収420万円、住宅ローンの毎月返済額10万円、車のローンの返済額3万円 <計算してみましょう 上記計算式に当てはめます>

- ① 住宅ローンの年間返済額120万円 ②車のローンの年間返済額36万円
- ① + ② = 156万円 156万円 ÷ 420万 = 37.14%

※年収400万円未満・・・30%以下 年収400万円以上・・・35%以下

ファイナンシャルプランナー・相続診断士・住宅ローンアドバイザー: 大川 淳